

一日教育委員会（教育懇談会）意見交換記録

□日時	平成24年9月11日（火）	13:30～
□場所	富士吉田市民会館	
□出席者	108名	
	（内訳）PTA関係者	95名
	市町村教育委員会関係者	2名
	その他（学校教職員関係）	11名

1 やまびこ支援学校の整備について

（意見・質問）

- ・やまびこ支援学校は、山の中腹、急傾斜地であり土砂崩れ等危険地域にある
- ・校舎は古く、階段も多い。今後の改築などの予定などを教えて欲しい

→（応答：新しい学校づくり推進室長）

- ・学校の環境が厳しいことは承知している。
- ・特別支援教育推進プランにより順次整備を行っており、プランに基づいて検討していく。

2 いじめ問題について

（意見・質問）

- ・いじめの問題について、いじめが起きる前の対策が重要ではないか
- ・いじめる方が100%悪いとの考え方に賛成。いじめられる側にも問題があるとの考え方に憤りを感じる。
- ・学校は責任逃れをせず毅然とした態度で臨むべき
- ・山梨県ではきめ細かく対応しているとのことで安心した
- ・国からの指示を待つのではなく、県で積極的な改善を

→（応答：義務教育課長）

- ・いじめを起こさないような学校づくりに取り組んでいる
- ・お互いに思いやりを持つ「やまなし心づくり推進事業」に取り組んでいる。
- ・いじめは起こしてはならないが、いじめはどこにでも起こりうるという認識であり、早期発見・早期対応に心がけている。
- ・いじめを受けているこどもの心の身に立って今後も対応していきたい
- ・携帯のメールを使ってなど、学校でもわかりにくい新しいいじめの形があり、携帯やインターネットなどの使い方についての指導をしている
- ・スクールカウンセラー活用事業や、スクールソーシャルワーカーなどの配置も行っており、出来る対策をしている。

→ (応答：小林委員長)

- ・いじめの発見はアンケート結果ではなく、先生が毎日の児童生徒の様子を見て気づいていくべき。
- ・民間から出た教育委員長として、いろんな所へ行って様々な話を聞くようにして、教育委員会の風通しを良くしていきたいと思う。

3 少人数学級について

(意見・質問)

- ・委員長の話に共感した。いじめの発見については、子どもたちの動きからその兆候をつかむ。オーソドックスなやり方しかないのでは
- ・学校の学園祭に参加したが、子どもたちの可能性にとっても感動した。地域の人にも是非学園祭を見てもらいたい
- ・少人数教育 35 人はぐくみプランについて、1. 5 人加配ではなく 2 人の加配にしていきたい

→ (応答：総務課長)

- ・H16 年度よりはぐくみプラン（少人数学級推進）を実施し、H20 年度には中学 1 年生を 35 人学級に、H23 年度には、小学校 3 年生を 35 に学級とした。
- ・ただし、学級を割ってまで児童生徒数を少なくし過ぎることのないようにしている。
- ・また、教室数が少なく、対応できないものもあるため、学校の判断で選べるようにしている。

4 教員の多忙化について

(意見・質問)

- ・学校の先生は大変忙しいと聞く。本当に子どもと向き合っている時間を与えられているのか。余計な時間が取られているのではないか。

→ (応答：石川教育委員)

- ・普段からいじめが生じないような学級学校づくりが重要
- ・教員の評価主義などの効率能率が求められ多忙に拍車がかかるが、教育は効率や能率だけで評価するものではない
- ・子どもたちとしっかり向き合う実践が大切ではないかと思う。

5 学校施設整備について

- ・体育祭のとき、テントが少なく、場所を取るので椅子なしで子どもに座らせている。
- ・校長は予算がないというが、本当に欲しいものに予算充実を

→ (応答：総務課長)

- ・学校運営に関する経費は、県立学校は県が、市町村立小中学校は市町村が負担する。
- ・PTA の費用を使って運営経費負担をするのは基本的にはおかしい話である。
- ・ただし、PTA から正式な手続きで寄附を受けることはある。
- ・財政が厳しい中ではあるが、必要なものは要求していく。

6 複式学級について

(意見・質問)

- ・本校は、小規模校であり、少人数教育どころか複式学級である。複式学級の今後について、考え方を教えてもらいたい。

→ (応答：義務教育課長)

- ・山梨県は複式学級も相当ある。
- ・県教委としては、複式学級解消の努力をしている。
- ・教員数確保の問題もあるが、出来るだけ充実するよう努力したい。

→ (応答：長田委員)

- ・今は少人数教育の流れが強い
- ・何を一番大切にするのか。子どもが何を学んでいくのか
- ・子どもが教育を受ける時間は同じと思うが、複式学級でも大きく違うものなのか

(意見・質問)

- ・複式学級は児童のためには良くないと思う。
- ・特に4年生から5年生になると、学ぶ時間も違ってくる。
- ・複式学級の場合、片方の児童は自習などになることもある。

→ (応答：義務教育課長)

- ・複式学級であっても基本的にやらなければならない授業時数は同じであるが、学校でのやりくりの中で保護者のとらえ方に誤差があるのかもしれない。

7 学校の統廃合について

(意見・質問)

- ・小さな学校に対する統廃合などについて指針などあるか。

→ (応答：義務教育課長)

- ・県教委では、適正規模の学校について指針があるが、これは目安であり、市町村教委が判断する。
- ・大月、峡南、北巨摩などは統廃合が進んでいる。

8 中高一貫校について

(意見・質問)

- ・中高一貫の今後の方向性はどうか？

→ (応答：新しい学校づくり推進室長)

- ・中高一貫について、高等学校審議会では、当面は「連携型」との答申が出ている。
- ・連携型でどのような学校が作れるのか今後検討していく。

9 高等学校前期入試の今後の方向性と高校の適正規模について

(意見・質問)

- ・前期試験の今後の方向性と、高校の適正規模について、1 学年 1 クラスになったときはどうなるのか？

→ (応答：新しい学校づくり推進室長)

- ・全県一区制度についてはそのままの方向性である。
- ・前期入試について特に中学校の先生から問題が多いとの声があり、前期入試をやめる動きもあるが、審議会答申をいただいた上で検討していく。
- ・高校規模は、6 クラスを基本として、4～8 クラスが適正であると考えている。
- ・高校は教科担任や授業以外の業務もあり、一定の水準を維持するには一定のクラス数が必要。

10 新県立図書館について

(意見・質問)

- ・新しい図書館がオープンする。上野原市からは遠いが、いいものを是非見せて欲しい。

→ (応答：新図書館建設室長)

- ・是非見に来ていただきたい。バスで来る場合、駐車場もある。大歓迎。
- ・ただし、学校で来る場合、事前に図書館まで伝えていただきたい。

→ (応答：高野委員)

- ・図書館阿刀田館長の考えは、小さい頃からいいものを見せるという考えであり、是非、館長が図書館にいるときに訪問して、館長から直接声をかけられるような機会がよいのではないかと。
- ・郊外の大きなショッピングモールが出来、古くからの街が寂れて、中央商店街は疲弊している。
- ・地域力を考えたとき、生活基盤や生活するための仕事もある。それを支える人々の繋がりがあるが、そのバランスが崩れている。特に県境は崩れており、地域力を上げないと、社会のバランスが維持できない。
- ・学校教育とは地域も含めても大人がどう自分たちの姿を見せられるかであると思う。
- ・子どもたちが困らない環境を作るようにできたらいいと思う。

11 少人数学級について

(意見・質問)

- ・ある学者によるといじめを見抜ける適切な生徒数は 17 人と聞いた。35 人学級で本当にいいのか？

→ (応答：義務教育課長)

- ・学校規模について、H19 年度の適正規模検討委員会の報告書によると、望ましい規模は各学年 2 学級以上、1 学級 20 人くらいが望ましいとの報告がされているが、実際は市町村教委の考え方による。

- ・大きな学校に小規模校から統廃合で数人だけ行くとなると、学習意欲や生活環境も変わるため、教員の配置も含め、そのケアに努めるよう指導している。
- ・35人学級について、当面は、35人としているが、必ずしも35人が適しているかどうかは検討していかなければと思っている。

12 武道必修化について

(意見・質問)

- ・武道は危険という声がある。今回の資料を読んでこの内容では薄いのではないかと感じた。テレビで体育授業中柔道で事故のニュースを見たが、痛ましかった。対応が後手に回らないよう検討してもらいたい。

→ (応答：石川委員)

- ・柔道等の指導者不足については夏休みに講習の実施など、指導者育成を要望していく

13 いじめ問題について

(長田委員)

- ・いじめについて、いじめる方が100%悪い
- ・いじめる者は相手がどう感じるのかわかっていない
- ・少人数だと仲間同士で学び合うことが少なくなるという危惧もある。
- ・少人数で教師の目が届くことも重要だが、子ども自身が自ら育つことを信じたい
- ・あまりに小さな単位だと子ども同士のコミュニケーション能力を培う場が少なくなるのではないか。
- ・豊かな情緒体験、人と人との関わりを感じることも必要だと思う。

(杉原委員)

- ・教育に対して強い関心持っていることに感動した。
- ・子どもが死ぬということはつらい。いじめだと更に悔しいしつらい。
- ・子どもは、いじめられることは、人には言えない。プライドもあるし、更にひどくなることもある
- ・このため、教員と親と手を組んで取り組んでいく必要がある。
- ・子どもたちにも素晴らしい力がある。子ども自身が取り組んでいく意欲を示すことが大切だと思う。
- ・子どもは誰もが正義感を持っているという子どもたちの力や可能性を信じて子どもたち自身で解決する力を培っていききたい。

(意見・質問)

- ・任天堂DSの最新通信機能に「すれ違い通信」という機能がある
- ・学校に持ってきている生徒もいて、うわさ話が広がることもある。是非注意を。